

2025年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月15日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社チームスピリット

コード番号 4397 URL <https://corp.teamspirit.com/ja-jp/>

代表者 （役職名）代表取締役CEO （氏名）道下 和良

問合せ先責任者 （役職名）執行役員CFO

（氏名）高橋 亮

TEL 03-4577-7510

定時株主総会開催予定日 2025年11月28日

配当支払開始予定日

-

有価証券報告書提出予定日 2025年11月26日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年8月期の連結業績（2024年9月1日～2025年8月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年8月期	4,922	11.3	269	—	277	—	362	—
2024年8月期	4,421	16.1	△87	—	△89	—	△180	—

（注）包括利益 2025年8月期 365百万円（－％） 2024年8月期 △178百万円（－％）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2025年8月期	22.01	22.01	25.4	6.8	5.5
2024年8月期	△10.96	—	△13.7	△2.5	△2.0

（参考）持分法投資損益 2025年8月期 ー百万円 2024年8月期 ー百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年8月期	4,472	1,623	36.1	97.88
2024年8月期	3,692	1,229	33.3	74.74

（参考）自己資本 2025年8月期 1,614百万円 2024年8月期 1,229百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年8月期	442	△21	△34	2,942
2024年8月期	68	107	△0	2,543

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 （合計）	配当性向 （連結）	純資産配当率 （連結）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年8月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

3. 2026年8月期の連結業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	5,700	15.8	430	59.4	430	54.7	320	△11.8	19.40

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) ワークライフログ株式会社、除外 1社 (社名) ワークライフログ株式会社
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年8月期	16,509,500株	2024年8月期	16,451,600株
② 期末自己株式数	2025年8月期	17,915株	2024年8月期	8,915株
③ 期中平均株式数	2025年8月期	16,474,702株	2024年8月期	16,426,135株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年8月期の個別業績（2024年9月1日～2025年8月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期	4,922	11.3	259	—	298	—	382	—
2024年8月期	4,421	16.1	△118	—	△141	—	△126	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期	23.22	23.22
2024年8月期	△7.69	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年8月期	4,462	1,618	36.0	97.55
2024年8月期	3,510	1,206	34.4	73.35

(参考) 自己資本 2025年8月期 1,608百万円 2024年8月期 1,206百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(会計方針の変更に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「働くを変え、チームの力を解き放つ」のミッションと、「チームの成功を支えるプラットフォームになる」のビジョンを掲げ、我が国の少子高齢化にともなう労働力の減少と需給ギャップの拡大という社会課題に向き合い、チーム力の最大化の観点から人的資本の生産性向上を実現するSaaS（注1）をTeam Success Platformとして提供しています。具体的には、勤怠管理、工数管理、経費精算、電子稟議等の業務システムのクラウドサービス「TeamSpirit」（注2）等に加えて、AI議事録ソリューション「Synclog」や「TeamSpiritタレントマネジメント」等を提供しております。

当社グループが提供するサービス領域における短期的な事業環境といたしましては、フルリモートワークやハイブリッドワーク等の多様な働き方への対応が求められるようになったことで、高度な「勤怠管理」への需要は継続的に高い関心を集めております。また、最近では、労働時間の正確な把握だけでなく、仕事の見える化によるチームの活性化や非対面でのマネジメントの最適化を可能にする「工数管理」への需要も高まっています。

中長期的な事業環境といたしましては、人的資本経営に対する関心の高まりを背景に、多様で生産性の高い働き方の実現や、従業員エンゲージメントの向上に注力する企業が増加することが予想されます。また、特にエンタープライズ企業（注3）では、2000年頃に一斉導入されたERP並びに、それに付随したデータのエントリー機能を担う「勤怠管理システム」や「経費精算システム」といったERPのフロントウェアシステムのリプレイス需要が高まっています。従来、エンタープライズ企業では、これらのシステムは各社独自の仕様で構築されるケースが一般的でしたが、昨今は更新投資やシステム保守費をかけることなく最先端のサービスを利用することができるSaaSへの関心が高まっています。

このような事業環境の下で、当社グループは成長戦略として①エンタープライズセグメントでの成長加速、②ミッド・スモールセグメントでの成長維持、③新規領域の創出の3点に取り組んでおります。同時に成長性を最優先としながらも経営効率を高めるための施策に注力し、成長性と収益性の両立に取り組んでおります。

2025年8月期の経営成績は以下のとおりです。

ライセンスの受注状況に関して、エンタープライズ企業の新規受注や追加受注が成長を牽引したことで、当連結会計期間における契約ライセンス数の純増は118,170ライセンスとなり、累計の契約ライセンス数は663,689ライセンス（前連結会計年度末比21.7%増）となりました。これに伴い、ARR（注4）の純増は578百万円となり、累計では4,414百万円（同15.1%増）となりました。また、契約社数の増加は212社となり、累計で2,179社となりました。

当連結会計年度における売上高は4,922百万円（前連結会計年度比11.3%増）となりました。ライセンス売上高は4,021百万円（同12.1%増）、プロフェッショナルサービス売上高は導入プロジェクトの受注が引き続き堅調に積み上がったことで900百万円（同8.1%増）となりました。営業利益は、増収に加えてシンガポール子会社の事業縮小に伴う人件費及びその他の固定費の減少や、採用活動や広告宣伝等の費用対効果の薄い施策の見直しによる経営効率化により269百万円（前連結会計年度は営業損失87百万円）となり黒字転換を実現しました。また、繰延税金資産について、当期の業績及び将来計画などを勘案し、その回収可能性を慎重に検討した結果、過年度の評価性引当金の戻し入れを行い、当連結会計年度末において繰延税金資産693百万円を計上したことに伴い、前連結会計年度末からの増加額190百万円を法人税等調整額に計上しました。その結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、362百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失180百万円）となりました。

なお、当社グループはSaaS事業の単一事業であるため、事業セグメント別の記載を省略しております。

(注1) SaaS:Software as a Serviceの略称で、サービスとしてのソフトウェアを指す。クラウドサーバーにあるソフトウェアを、インターネットを経由して利用できるサービス。

(注2) TeamSpirit:大企業向けの「TeamSpirit Enterprise」及び、幅広い企業規模で利用可能な「TeamSpirit」の2つの製品で構成。

(注3) 企業規模毎の定義は以下のとおり。

名称	定義
エンタープライズ企業	従業員が1,000名以上の企業
ミッド企業	従業員が200～999名の企業
スモール企業	従業員が199名以下の企業

(注4) ARR:Annual Recurring Revenueの略で、集計基準日時点の当社製品のライセンス収入から得られる月間収益の合計を12倍したものの。

(2) 財政状態に関する説明

当連結会計年度末における総資産は4,472百万円となり、前連結会計年度末から779百万円増加しました。

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は3,676百万円となり、前連結会計年度末から553百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加によるものです。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は795百万円となり、前連結会計年度末から226百万円増加しました。これは主に、繰延税金資産の増加によるものです。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は2,848百万円となり、前連結会計年度末から384百万円増加しました。これは主に、繰延収益の増加によるものです。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債はありません。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は1,623百万円となり、前連結会計年度末から394百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益を計上したことによる利益剰余金の増加によるものです。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は2,942百万円となり、前連結会計年度末に比べ399百万円増加（前連結会計年度比15.7%増）しました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は442百万円（前連結会計年度は68百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益277百万円及び受注拡大に伴い繰延収益261百万円を計上したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は21百万円（前連結会計年度は107百万円の収入）となりました。これは主に、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は34万円（前連結会計年度は0百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出32百万円によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期も引き続き、エンタープライズ企業を中心に受注を積み重ねていき、13～16%程度のARR成長を見込んでおります。これに伴い、売上高は5,700百万円（当連結会計年度比16%増）を計画しております。

営業利益について、当連結会計年度において成長投資を継続しつつも投資対効果の見極めを厳密に行いながら経営効率化施策を進めてきました。2026年8月期についても引き続き、新規領域を中心に必要な成長投資を継続しながらも経営効率化を徹底することで増益を見込んでおり、430百万円（同59%増）を計画しております。

以上により、2026年8月期の業績予想は、売上高5,700百万円（うちライセンス売上高4,600百万円）、営業利益430百万円、親会社株主に帰属する当期純利益320百万円を見込んでおります。

なお、連結業績予想につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは国内の同業他社との比較可能性等を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、I F R S（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当連結会計年度 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,543,387	2,942,807
売掛金及び契約資産	46,698	119,585
前渡金	359,734	455,501
その他	174,666	159,705
貸倒引当金	△972	△646
流動資産合計	3,123,514	3,676,953
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	2,638	2,638
減価償却累計額	△274	△548
建物附属設備（純額）	2,363	2,089
その他	16,973	17,441
減価償却累計額	△7,972	△10,494
その他（純額）	9,001	6,947
有形固定資産合計	11,364	9,036
無形固定資産		
のれん	—	39,840
その他	—	5,496
無形固定資産合計	—	45,336
投資その他の資産		
繰延税金資産	502,627	693,358
その他	55,465	48,151
投資その他の資産合計	558,093	741,510
固定資産合計	569,458	795,883
資産合計	3,692,973	4,472,837
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,075	12,895
未払法人税等	18,803	119,016
未払費用	210,321	233,495
繰延収益	1,764,085	2,025,897
賞与引当金	64,170	152,810
株主優待引当金	—	18,483
事業再編費用引当金	111,525	—
その他	285,952	286,315
流動負債合計	2,463,933	2,848,914
負債合計	2,463,933	2,848,914
純資産の部		
株主資本		
資本金	840,824	850,812
資本剰余金	830,824	840,812
利益剰余金	△461,214	△98,555
自己株式	△509	△509
株主資本合計	1,209,925	1,592,560
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	19,113	21,566
その他の包括利益累計額合計	19,113	21,566
新株予約権	—	9,796
純資産合計	1,229,039	1,623,923
負債純資産合計	3,692,973	4,472,837

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
売上高	4,421,949	4,922,684
売上原価	2,768,673	2,938,237
売上総利益	1,653,275	1,984,447
販売費及び一般管理費	1,740,608	1,714,615
営業利益又は営業損失(△)	△87,332	269,831
営業外収益		
受取利息	251	3,686
補助金収入	694	225
事業再編費用引当金戻入益	—	3,813
その他	1,603	3,799
営業外収益合計	2,550	11,524
営業外費用		
支払利息	—	230
為替差損	3,652	1,375
株式交付費	628	1,582
その他	65	298
営業外費用合計	4,346	3,487
経常利益又は経常損失(△)	△89,128	277,869
特別損失		
事業再編費用引当金繰入額	112,597	—
特別損失合計	112,597	—
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△201,726	277,869
法人税、住民税及び事業税	18,909	105,940
法人税等調整額	△40,535	△190,730
法人税等合計	△21,626	△84,789
当期純利益又は当期純損失(△)	△180,100	362,659
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△180,100	362,659

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△180,100	362,659
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,090	2,452
その他の包括利益合計	2,090	2,452
包括利益	△178,009	365,111
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△178,009	365,111

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	833,320	823,320	△281,113	△509	1,375,018	17,022	17,022	1,392,041
当期変動額								
新株の発行	7,503	7,503			15,007			15,007
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△180,100		△180,100			△180,100
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						2,090	2,090	2,090
当期変動額合計	7,503	7,503	△180,100	—	△165,093	2,090	2,090	△163,002
当期末残高	840,824	830,824	△461,214	△509	1,209,925	19,113	19,113	1,229,039

当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	840,824	830,824	△461,214	△509	1,209,925	19,113	19,113	—	1,229,039
当期変動額									
新株の発行	9,987	9,987			19,975				19,975
親会社株主に帰属する当期純利益			362,659		362,659				362,659
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						2,452	2,452	9,796	12,248
当期変動額合計	9,987	9,987	362,659	—	382,634	2,452	2,452	9,796	394,883
当期末残高	850,812	840,812	△98,555	△509	1,592,560	21,566	21,566	9,796	1,623,923

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△201,726	277,869
減価償却費及びその他の償却費	4,367	11,581
株式報酬費用	—	9,796
貸倒引当金の増減額(△は減少)	170	△326
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,103	88,640
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	18,483
事業再編費用引当金の増減額(△は減少)	112,597	△113,411
受取利息及び受取配当金	△251	△3,911
補助金収入	△672	△225
株式交付費	628	1,582
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△4,042	△69,735
前渡金の増減額(△は増加)	△33,748	△95,766
前払費用の増減額(△は増加)	—	38,606
仕入債務の増減額(△は減少)	3,185	3,819
繰延収益の増減額(△は減少)	195,145	261,812
その他	24,894	38,702
小計	107,651	467,517
利息及び配当金の受取額	251	3,911
補助金の受取額	672	225
法人税等の支払額	△40,326	△28,692
営業活動によるキャッシュ・フロー	68,248	442,961
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,314	△468
原状回復による支出	△25,123	—
敷金及び保証金の回収による収入	138,559	—
敷金及び保証金の差入による支出	△1,680	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△21,660
その他	—	200
投資活動によるキャッシュ・フロー	107,441	△21,929
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△32,436
その他	△628	△1,582
財務活動によるキャッシュ・フロー	△628	△34,018
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,420	12,406
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	178,482	399,420
現金及び現金同等物の期首残高	2,364,904	2,543,387
現金及び現金同等物の期末残高	2,543,387	2,942,807

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

当社グループは、SaaS事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

当社グループは、SaaS事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当連結会計年度において、譲渡制限付株式報酬としての新株発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ9,987千円増加し、当連結会計年度末において資本金が850,812千円、資本剰余金が840,812千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
1株当たり純資産額	74.74円	97.88円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△10.96円	22.01円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	22.01円

(注) 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び算定上の基礎、並びに潜在株式調整後1株当たり当期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△180,100	362,659
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△180,100	362,659
普通株式の期中平均株式数(株)	16,426,135	16,474,702
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	1,753
(うち新株予約権(株))	—	(1,753)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(注) 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。